

1.	③	11.	④	21.	④	31.	③	41.	③
2.	①	12.	③	22.	③	32.	②	42.	②
3.	③	13.	①	23.	①	33.	②	43.	①
4.	④	14.	①	24.	④	34.	①	44.	②
5.	④	15.	④	25.	④	35.	③	45.	④
6.	①	16.	③	26.	④	36.	①	46.	②
7.	③	17.	③	27.	②	37.	①	47.	④
8.	④	18.	②	28.	③	38.	③	48.	②
9.	①	19.	②	29.	①	39.	④	49.	①
10.	①	20.	③	30.	②	40.	①	50.	④

1.

解答 ③

【解説】

「～を輸入する」という意味に最も近い英単語は③の **import** です。外国から自国へ製品やサービス、考えなどを持ち込むことを指します。例えば、「石油を輸入する」は **import oil** と表現します。他の選択肢について、① **export** は「～を輸出する」で、**import** の対義語です。② **support** は「～を支持する」、④ **report** は「～を報告する」です。

◆補足：import は、動詞として使う場合は /ɪmˈpɔːrt/（インポート）のように後ろにアクセントが置かれ、名詞として「輸入、輸入品」を意味する場合は /ˈɪmpɔːrt/（インポート）のように前にアクセントが置かれます。

2.

解答 ①

【解説】

英単語「**branch**」は、「枝」と「支店」という二つの主要な意味を持つ名詞です。①木の幹から分かれ出る部分（枝）、②大企業や組織から分かれた地方の事務所や店（支店）の両方を指します。選択肢②「昼食」は **lunch**、③「束」は **bunch**、④「ベンチ」は **bench** です。

◆補足：木の幹から枝が分かれ出る様子から、比喩的に「支店」や学問の「一部門」といった意味が生まれました。動詞の **branch out** は「(新しい分野に) 事業を広げる」という意味の重要な句動詞です。

3.

解答 ③

【解説】

英単語「area」は、「地域、区域、範囲」という意味の名詞です。特定の境界で区切られた土地や、ある主題の範囲などを指す、非常に幅広く使われる単語です。例えば、「都市部」は a metropolitan area、「専門分野」は an area of expertise と表現します。選択肢①「時代」は era、②「誤り」は error、④「空気」は air です。

◆補足：類義語の region よりも、area はより一般的で、広さに関わらず使うことができます。

4.

解答 ④

【解説】

英単語「press」が名詞として使われる場合、特に the press の形で、「報道機関、マスコミ」を意味します。新聞、雑誌、およびそれらで働く記者たちを総称して指します。例えば、「記者会見」は a press conference と表現します。選択肢①「過程」は process、②「王女」は princess、③「価格」は price です。

◆補足：press の動詞としての基本的な意味は「～を押す」です。元々、印刷機（printing press）で圧力をかけて印刷していたことから、印刷物、特に新聞や雑誌を指すようになり、現在の「報道機関」という意味に発展しました。

5.

解答 ④

【解説】

英単語「organic」は、「有機の、化学肥料を使わない」という意味の形容詞です。農薬や化学肥料を使わずに生産された農産物などを指します。例えば、「有機野菜」は organic vegetables と表現します。選択肢①「組織的な」は organized、②「独創的な」は original、③「普通の」は ordinary です。

◆補足：organic は、より広く「生物の、有機体の」という意味も持ちます。organic chemistry（有機化学）のように、科学の分野でも使われる単語です。

6.

解答 ①

【解説】

「～を埋める」という意味に最も近い英単語は①の bury です。地面に穴を掘り、その中に何かを入れて土で覆うことを指します。例えば、「宝物を庭に埋める」のように使います。他の選択肢につい

て、② borrow は「～を借りる」、③ berry は「ベリー（イチゴなど）」、④ bully は「～をいじめる」という意味です。

◆補足：bury の発音は/'beri/（ベリー）で、スペルから推測しにくいので注意が必要です。名詞形は burial（埋葬）です。比喩的に、「(感情など)を心の奥にしまい込む」という意味で使われることもあります。

7.

解答 ③

【解説】

英単語「geography」は、「地理学」という意味の名詞です。地球の物理的な特徴、大気、そして人間の活動がそれらにどう影響し、また影響されるかを研究する学問です。選択肢①「地質学」は geology、②「幾何学」は geometry、④「生物学」は biology です。

◆補足：geography の語源は、ギリシャ語の geo-（地球）と -graphy（記述）で、「地球について記述すること」が元の意味です。この学問を専門とする人は geographer（地理学者）と呼ばれます。

8.

解答 ④

【解説】

「費用、出費」という意味に最も近い英単語は④の expense です。何かを手に入れたり、何かをしたりするために費やすお金を指します。例えば、「旅費」は travel expenses と表現します。他の選択肢について、① experience は「経験」、② excuse は「言い訳」、③ example は「例」です。

◆補足：expense の形容詞形は expensive（高価な）です。at the expense of ～（～を犠牲にして）という熟語は、「あるものを得るために、別の価値あるものを失う」という状況を表す重要な表現です。

9.

解答 ①

【解説】

「起源、生まれ」という意味に最も近い英単語は①の origin です。物事の始まりや、人が生まれた家柄・血統などを指します。例えば、「宇宙の起源」は the origin of the universe と表現します。他の選択肢について、② organ は「器官、臓器」、③ opinion は「意見」、④ orange は「オレンジ」です。

◆補足：origin の形容詞形は original（元の、独創的な）、動詞形は originate（～に由来する、始まる）です。ラテン語で「昇る、現れる」を意味する oriri が語源となっています。

10.

解答 ①

【解説】

英語表現「break out」は、「(戦争・火事・病気などが) 突然起こる、勃発する」という意味です。望ましくない出来事が、急に始まる様子を表します。例えば、「第二次世界大戦は 1939 年に勃発した」は World War II broke out in 1939. と表現します。選択肢②「故障する」は break down、③「侵入する」は break in、④「別れる」は break up です。

◆補足：break out は、何かが囲いを「破って (break) 外に (out) 出る」というイメージから、「(抑えられていたものが) 噴出する、突発する」というニュアンスを持っています。

11.

解答 ④

【解説】

英語表現「not ~ in the least」は、「少しも～ない、全く～ない」という意味です。否定を強く強調する際に使われる表現です。in は省略されることもあります。例えば、「私は少しも驚かなかった」は I was not surprised in the least. と表現します。選択肢①「少なくとも～」は at least、②「せいぜい～」は at most、③「ついに～」は at last です。

◆補足：least は、little の最上級で「最も少ない」を意味します。in the least は「最も少ない程度においてさえも」となり、それを否定することで「全く～ない」という強い否定になります。

12.

解答 ③

【解説】

英語表現「refer to ~」は、「～を参照する、～に言及する」という意味です。情報を得るために本や辞書などを「参照する」場合と、話の中で人や物事に「言及する」場合があります。例えば、「詳細は 3 ページを参照してください」のように使います。選択肢①「～を好む」は prefer ~、②「～を延期する」は defer ~、④「～を推測する」は infer ~ で、いずれも発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：refer to A as B の形で、「A を B と呼ぶ」という意味にもなります。名詞形は reference (参照、言及) です。

13.

解答 ①

【解説】

「結果」という意味に最も近い英単語は①の **result** です。ある出来事や行動が原因となって生じた事柄を指します。例えば、「試験の結果」は **the results of the exam** と表現します。他の選択肢について、② **report** は「報告」、③ **receipt** は「領収書」、④ **resort** は「行楽地、リゾート」です。

◆補足：**result** は動詞としても使われ、**result in** ～（～という結果になる）や **result from** ～（～から生じる）といった形で、因果関係を表す重要な表現を作ります。

14.

解答 ①

【解説】

「警備、安全」という意味に最も近い英単語は①の **security** です。犯罪や攻撃といった脅威から、人、建物、国などを守ること、またその安全な状態を指します。例えば、「警備員」は **a security guard**、「防犯カメラ」は **a security camera** と表現します。他の選択肢について、② **society** は「社会」、③ **secrecy** は「秘密主義」、④ **sincerity** は「誠実さ」を意味します。

◆補足：**security** の形容詞形、動詞形は共に **secure** です。動詞としては「～を確保する、～を安全にする」といった意味になります。

15.

解答 ④

【解説】

「生存」という意味に最も近い英単語は④の **survival** です。困難な状況や危険な出来事にもかかわらず、生き続けること、あるいは存在し続けることを指します。例えば、「生存の可能性」は **the chances of survival** と表現します。他の選択肢について、① **arrival** は「到着」、② **rival** は「ライバル」、③ **revival** は「復活」です。

◆補足：**survival** は、動詞 **survive**（生き残る）の名詞形です。人物を指す名詞は **survivor**（生存者）です。**survival of the fittest**（適者生存）は、進化論における有名な言葉です。

16.

解答 ③

【解説】

「～に侵入する、～を侵略する」という意味に最も近い英単語は③の **invade** です。軍隊が他国を武力で制圧しようと入り込むことを指します。例えば、「その国は隣国に侵攻した」のように使います。他の選択肢について、① **avoid** は「～を避ける」、② **invent** は「～を発明する」、④ **involve** は「～を伴う」という意味です。

◆補足：**invade** は、比喩的に「(プライバシーなど)を侵害する」という意味でも使われます（例：**invade someone's privacy**）。名詞形は **invasion**（侵入、侵略）です。

17.

解答 ③

【解説】

英単語「wealth」は、「富、財産」という意味の名詞です。個人や国が所有する、多額のお金や価値のある資産を指します。例えば、「富を築く」は **build wealth** と表現します。選択肢①「天候」は **weather**、②「健康」は **health** で、スペルが似ているため注意が必要です。④「価値」は **worth** や **value** です。

◆**補足**：wealth の形容詞形は **wealthy**（裕福な）です。類義語の **rich** よりも、土地や株などの資産を含めた、より安定的で大規模な富を指すニュアンスがあります。

18.

解答 ②

【解説】

英語表現「hot spring」は、「温泉」という意味です。地面から温かい水が湧き出る場所を指します。例えば、「温泉に入る」は **take a dip in a hot spring** と表現します。選択肢①「暑い春」や④「泉（spring）」は、単語を個別に訳したもので、熟語としての意味ではありません。③「熱湯」は **hot water** です。

◆**補足**：hot spring は、hot（温かい）と spring（泉）が組み合わさった複合名詞です。日本は火山国であるため、全国に多くの温泉地があります。

19.

解答 ②

【解説】

英語表現「be about to do」は、「まさに～しようとしている」という意味です。何かが非常に近い未来に、今にも起ころうとしている状況を表します。例えば、「電車はまさに出発するところだった」は **The train was about to leave.** と表現します。選択肢①「～する準備ができている」は **be ready to do**、③「～しそうである」は **be likely to do**、④「～することになっている」は **be supposed to do** が対応し、それぞれニュアンスが異なります。

◆**補足**：この表現は、行為の直前であることを強調します。**I was about to call you.**（ちょうど君に電話しようと思っていたところだよ）のように、会話で頻繁に使われます。

20.

解答 ③

【解説】

英単語「aircraft」は、「航空機」という意味の名詞です。飛行機やヘリコプターなど、空を飛ぶ乗り物の総称です。例えば、「軍用機」は **a military aircraft** と表現します。選択肢①「空港」は **airport**、②「航空会社」は **airline**、④「工芸品」は **craft** です。これらは全て航空や乗り物に関連する単語で、混同しやすいので注意しましょう。

◆補足：aircraft は、単数形と複数形が同じ形である（aircraft-aircraft）という特徴があります。air（空）と craft（乗り物、技能）が組み合わさった複合名詞です。

21.

解答 ④

【解説】

「C にちなんで A(B) と名付ける」という意味に最も近い英語表現は④の **name A after C** です。尊敬する人や、ゆかりのある物事の名前を、子供や物（A や B）につけることを指します。例えば、「その都市は有名な科学者にちなんで名付けられた」のように使います。他の選択肢について、① **call A C** は「A を C と呼ぶ」、② **see A as C** は「A を C と見なす」、③ **look after C** は「C の世話をする」という意味です。

◆補足：この表現では、after は「～の後を追って」というニュアンスで使われています。

22.

解答 ③

【解説】

英語表現「for sure」は、「確かに、間違いなく」という意味です。ある事柄が確実であることを強調する際に使われる、やや口語的な表現です。例えば、「彼は間違いなく来るよ」は **He'll come for sure.** と表現します。選択肢①「無料で」は **for free**、②「例えば」は **for instance**、④「永遠に」は **for good** です。

◆補足：for sure は、certainly や definitely とほぼ同じ意味で使えます。I know for sure that ...（…だと確信している）や、Do you know for sure?（確かですか？）のように、文中で使われることも多いです。

23.

解答 ①

【解説】

英単語「lie」は、「横たわっている、位置している」という意味の自動詞です。人や物が水平な状態にあることを示します。目的語を必要としません。例えば、「猫が床に寝そべっている」は **A cat is lying**

on the floor. と表現します。選択肢②「～を置く」は他動詞の lay、③「～を縛る」は tie、④「死ぬ」は die です。

◆補足：lie は、英語学習者が最も混同しやすい動詞の一つです。自動詞 lie（横たわる）の活用は lie-lay-lain、他動詞 lay（～を置く）の活用は lay-laid-laid、そして「嘘をつく」という意味の lie は lie-lied-lied という規則活用になります。これらの区別は非常に重要です。

24.

解答 ④

【解説】

英単語「somewhere」は、「どこかに、どこかへ」という意味の副詞です。正確な場所が分からない、あるいは特定しないときに使われます。例えば、「鍵をどこかに置き忘れた」は I left my keys somewhere. と表現します。選択肢①「どういうわけか」は somehow、②「いつか」は sometime、③「多少、いくぶん」は somewhat です。これらは全て some- で始まる紛らわしい副詞なので、しっかり区別しましょう。

◆補足：somewhere は、around や about と共に使われ、「およそ、約」という意味で数値を表すこともあります（例：somewhere around 100 people）。

25.

解答 ④

【解説】

「火山」という意味に最も近い英単語は④の volcano です。マグマが噴出する、山のような地形を指します。例えば、「活火山」は an active volcano と表現します。他の選択肢について、① valley は「谷」、② voyage は「船旅、航海」、③ volume は「量、体積、音量」です。

◆補足：volcano の複数形は volcanoes または volcanos の両方が使われます。形容詞形は volcanic（火山の）です。ローマ神話の火の神「ウルカヌス（Vulcan）」が語源となっています。

26.

解答 ④

【解説】

英単語「poverty」は、「貧困」という意味の名詞です。生活に必要なお金や物がほとんどない、非常に貧しい状態を指します。例えば、「貧困の中で暮らす」は live in poverty と表現します。選択肢①「財産」は property、②「政策」は policy、③「人口」は population です。

◆補足：poverty の形容詞形は poor（貧しい）です。the poverty line（貧困線）という言葉は、政府などが生活に最低限必要な収入水準を定義する際に使われる専門用語です。

27.

解答 ②

【解説】

英単語「region」は、「地域、地方」という意味の名詞です。国の中の、あるいは世界の中の、特定の特徴を持つ比較的広い範囲を指します。例えば、「関東地方」は the Kanto region と表現します。選択肢①「理由」は reason、③「宗教」は religion、④「後悔」は regret です。

◆補足：region は、類義語の area よりも、行政区分や地理的特徴によって定義される、より公式で広大な範囲を指すことが多いです。形容詞形は regional（地域の）です。

28.

解答 ③

【解説】

英単語「serve」は多義語ですが、「食事を出す」以外で非常に重要な意味の一つが、「(～として) 務める、役立つ」です。ある役割や職務を果たすことや、ある目的のために機能することを指します。例えば、「軍隊に務める」は serve in the army と表現します。選択肢①「～に値する」は deserve、②「～を予約する」は reserve、④「～を保存する」は preserve です。

◆補足：serve as ～ の形で「～として役立つ」という意味の頻出表現になります。名詞形は service（奉仕、勤務）です。

29.

解答 ①

【解説】

英語表現「year after year」は、「来る年も来る年も、毎年毎年」という意味です。長い年月にわたって、毎年同じことが繰り返されることを強調します。例えば、「彼は毎年毎年、同じ休暇先を訪れる」のように使います。選択肢②「一年おきに」は every other year、③「年末に」は at the end of the year、④「つい先日」は the other day です。

◆補足：同じ構造の表現に、day after day（来る日も来る日も）や week after week（来る週も来る週も）があり、いずれも繰り返されることを強調します。

30.

解答 ②

【解説】

英単語「recently」は、「最近、近頃」という意味の副詞です。現在からそう遠くない過去の時点を指します。過去形や現在完了形と共に使われることが多いです。例えば、「私は最近彼に会った」は I saw him recently. と表現します。選択肢①「合理的に」は reasonably、③「頻繁に」は frequently、④「正確に」は precisely です。

◆補足：recently と似た単語に lately がありますが、lately は「このところずっと」という継続のニュアンスが強く、通常は現在完了形と共に使われます。一方、recently は過去の一点を示す過去形とも一緒に使える、より用途の広い単語です。

31.

解答 ③

【解説】

英単語「firework」は、「花火」という意味の名詞です。お祝い事などの際に、光や音のショーを生み出すために爆発させる小さな装置を指します。通常は複数形の fireworks で使われます。例えば、「花火大会」は a fireworks display と表現します。選択肢①「枠組み」は framework、②「宿題」は homework、④「暖炉」は fireplace です。

◆補足：firework は、fire（火）と work（作品）が組み合わさった複合名詞で、文字通り「火の作品」というイメージです。

32.

解答 ②

【解説】

「美しさ」という意味に最も近い英単語は②の beauty です。人や物の外見的な魅力や、人を喜ばせる素晴らしい質を指す名詞です。例えば、「自然の美しさ」は the beauty of nature と表現します。他の選択肢について、① duty は「義務」、③ bounty は「報奨金」、④ beast は「野獣」という意味です。

◆補足：beauty の形容詞形は beautiful（美しい）、動詞形は beautify（～を美しくする）です。a beauty salon（美容院）や the beauty industry（美容業界）といった複合語も覚えておくと良いでしょう。

33.

解答 ②

【解説】

英単語「anniversary」は、「記念日」という意味の名詞です。重要な出来事があった日から、ちょうど何年目かの節目にあたる日を指します。例えば、「結婚記念日」は a wedding anniversary、「創立記念日」は a foundation anniversary と表現します。選択肢①「年収」は annual income、③「年金」は annuity や pension、④「発表」は announcement です。

◆補足：anniversary の語源は、ラテン語の annus（年）と versus（回る）で、毎年「回ってくる」日というのが核となるイメージです。

34.

解答 ①

【解説】

「許可」という意味に最も近い英単語は①の permission です。誰かが何かをすることを許す行為、またはその承認を指します。例えば、「許可なく」は without permission と表現します。他の選択肢について、② profession は「(専門的な) 職業」、③ persuasion は「説得」、④ possession は「所有」を意味します。

◆補足：permission は、動詞 permit（～を許す）の名詞形です。通常、数えられない不可算名詞として扱われます。ask for permission（許可を求める）、give permission（許可を与える）といった形で使われます。

35.

解答 ③

【解説】

英単語「civilization」は、「文明」という意味の名詞です。高度に発達した文化や社会組織を持つ社会、またはその状態を指します。例えば、「古代文明」は ancient civilizations と表現します。選択肢①「市民」は citizen、②「市役所」は city hall、④「状況」は situation です。

◆補足：civilization の語源は、ラテン語で「市民」を意味する civis です。形容詞形は civilized（文明化された）です。

36.

解答 ①

【解説】

「～を見積もる」という意味に最も近い英単語は①の estimate です。費用、規模、価値などを、完全な情報がない中で概算することを指します。例えば、「修理費用を見積もる」は estimate the cost of repairs と表現します。他の選択肢について、② hesitate は「ためらう」、③ establish は「～を設立する」、④ escalate は「段階的に拡大する」という意味です。

◆補足：estimate は名詞としても使われ、「見積もり、見積書」を意味します。It is estimated that ...（…と見積もられている）という受け身の構文も頻繁に使われます。

37.

解答 ①**【解説】**

英語表現「bring about 〜」は、「〜を引き起こす、もたらす」という意味です。ある状況や変化の原因となることを指します。例えば、「科学技術は社会に大きな変化をもたらした」は Technology has brought about great changes in society. と表現します。選択肢②「〜を育てる」は bring up、③「〜を持ち帰る」は bring back、④「〜を導入する」は bring in です。

◆補足：bring about は、類義語の cause よりも、より大きな、あるいは間接的な変化を引き起こすというニュアンスで使われることが多いです。

38.

解答 ③**【解説】**

「普通の、ありふれた」という意味に最も近い英単語は③の ordinary です。特別だったり、他と違ってする点は何もない、ごく一般的な様子を表します。例えば、「それはごく普通の週末だった」のように使います。他の選択肢について、① original は「独創的な、元の」、② obedient は「従順な」、④ optional は「任意の、選択自由の」という意味です。

◆補足：ordinary の対義語は extraordinary で、「並外れた、非凡な」を意味します。副詞形は ordinarily（普通は）です。

39.

解答 ④**【解説】**

英語表現「turn off 〜」は、「(電気製品・明かりなど)を消す」という意味です。ボタンやスイッチを操作して、機械の作動を止めることを指します。例えば、「テレビを消す」は turn off the television と表現します。選択肢①「〜を断る」は turn down 〜、②「〜に変わる」は turn into 〜、③「現れる」は turn up です。

◆補足：turn off 〜 の対義語は turn on 〜（〜をつける）です。また、口語では「(人)をうんざりさせる、しらけさせる」という比喩的な意味で使われることもあります。

40.

解答 ①**【解説】**

英語表現「on the move」は、「移動中で、活動中で」という意味です。ある場所から別の場所へ物理的に移動している最中であることや、非常に忙しく活発に活動している状態を表します。例えば、「彼

はいつも出張で移動している」は **He is always on the move for business.** と表現します。選択肢②「勤務中で」は **on duty**、③「概して」は **on the whole**、④「わざと」は **on purpose** です。

◆補足：この表現は、特定の目的地に留まらず、常に動いているという継続的なニュアンスを含みます。

41.

解答 ③

【解説】

英単語「**literature**」は、「文学、文芸」という意味の名詞です。小説、詩、戯曲など、芸術的価値があるとされる文章作品を指します。例えば、「日本文学」は **Japanese literature** と表現します。選択肢①「文字通りに」は副詞の **literally**、②「自由」は **liberty**、④「図書館員」は **librarian** です。

◆補足：**literature** の語源は、ラテン語で「文字」を意味する **littera** です。特定の主題に関する「文献」全体を指すこともあります（例：**the scientific literature** 科学文献）。形容詞形は **literary**（文学の）です。

42.

解答 ②

【解説】

英単語「**frozen**」は、「凍った」という意味の形容詞です。水が氷になった状態や、食品などが保存のために冷凍された状態を表します。動詞 **freeze**（凍る）の過去分詞形です。例えば、「冷凍食品」は **frozen food** と表現します。選択肢①「新鮮な」は **fresh**、③「腐った」は **rotten**、④「壊れた」は **broken** です。

◆補足：**frozen** は、比喩的に「（恐怖などで）凍りついた、身動きできない」という意味でも使われます（例：**frozen with fear** 恐怖で凍りつく）。

43.

解答 ①

【解説】

「（～から）回復する」という意味に最も近い英単語は①の **recover** です。病気や怪我、あるいは悪い状況から、元の良い状態に戻ることを指します。**recover from** ～ の形で使われることが多いです。他の選択肢について、② **discover** は「～を発見する」、③ **cover** は「～を覆う」、④ **remove** は「～を取り除く」という意味です。

◆補足：**recover** の名詞形は **recovery**（回復）です。また、失われたり盗まれたりしたものを取り戻す、という意味でも使われます。語源はラテン語の **re-**（再び）+ **capere**（つかむ）に由来し、「再びつかむ」というイメージが「回復する、取り戻す」という意味につながっています。

44.

解答 ②

【解説】

英単語「trend」は、「傾向、動向、流行」という意味の名詞です。ある状況が変化・発展していく、全体的な方向性を指します。例えば、「最近の傾向」は **a recent trend** と表現します。選択肢①「旅行」は trip、③「部族」は tribe、④「試み」は trial です。

◆補足：trend は、ファッションにおける「流行」や、経済や社会における「動向」など、幅広い分野で使われます。a growing trend（増加傾向）のように、動向を示す形容詞と共に使われることも多いです。

45.

解答 ④

【解説】

「病気」という意味に最も近い英単語は④の **disease** です。事故ではなく、感染や健康上の不全によって引き起こされる、人や動植物の特定の病気を指します。例えば、「心臓病」は **heart disease** と表現します。他の選択肢について、① **decrease** は「減少」、② **decease** は「死亡」を意味するフォーマルな言葉、③ **disaster** は「災害」です。

◆補足：disease の語源は、否定の接頭辞 **dis-** と **ease**（安楽さ）で、「安楽でない状態」が核となるイメージです。一般的な「体調不良」を指す **illness** や **sickness** と比べて、**disease** は特定の診断名がつくような、より重い病気を指す傾向があります。

46.

解答 ②

【解説】

英語表現「**go through** ～」は、「(困難など)を経験する」という意味です。苦しい時期や辛い出来事を体験することを指します。例えば、「彼は人生で多くの困難を経験した」は **He went through a lot of difficulties in his life.** と表現します。選択肢①「～を調べる」は **go over** ～、③「～に賛成する」は **go with** ～、④「～なしで済みます」は **go without** ～ です。

◆補足：**go through** ～ には、「～を（隅々まで）調べる」という意味もあります。文脈に応じて「経験する」なのか「調べる」なのかを判断する必要があります。

47.

解答 ④

【解説】

「免疫のある」という意味に最も近い英単語は④の **immune** です。体内の物質によって、特定の病気から守られている状態を指します。**be immune to** ～ の形で「～に対して免疫がある」と表現します。他の選択肢について、① **immense** は「巨大な」、② **immediate** は「即座の」、③ **immature** は「未熟な」という意味です。

◆補足：**immune** は、比喩的に「(批判・影響など)を受けない、動じない」という意味でも使われます(例：**immune to criticism** 批判に動じない)。名詞形は **immunity** (免疫)、動詞形は **immunize** (～に免疫性を与える) です。

48.

解答 ②

【解説】

英単語「**accessible**」は、「到達できる、入手しやすい、利用しやすい」という意味の形容詞です。場所に行きやすかったり、物や情報が手に入れやすかったり、人が会いやすかったりする様子を表します。例えば、「その島は船でしか行けない」は **The island is only accessible by boat.** と表現します。選択肢①「許容できる」は **acceptable**、③「成功した」は **successful**、④「柔軟な」は **flexible** です。

◆補足：**accessible** の名詞形は **access** (アクセス、利用する権利) です。対義語は、否定の接頭辞 **in-** を付けた **inaccessible** (到達できない) です。

49.

解答 ①

【解説】

「成功」という意味に最も近い英単語は①の **success** です。目標や目的を達成することを指します。例えば、「大成功」は **a great success** と表現します。他の選択肢について、② **access** は「アクセス、利用する権利」、③ **excess** は「過剰」、④ **process** は「過程」です。

◆補足：**success** の動詞形は **succeed** (成功する)、形容詞形は **successful** (成功した) です。対義語は **failure** (失敗) です。

50.

解答 ④

【解説】

「A に B を供給する」という意味に最も近い英語表現は④の **provide A with B** です。人(A)に、必要とされている物や情報(B)を与えることを指します。例えば、「その会社は従業員に研修を供給

する」は The company provides its employees with training. と表現します。他の選択肢について、① prevent A from B は「A が B するのを妨げる」、② protect A from B は「A を B から守る」、③ prepare A for B は「A に B の準備をさせる」という意味です。

◆補足：provide A with B は、provide B for/to A と書き換えることができます。名詞形は provision（供給、備え）です。類義語の supply A with B とほぼ同じ意味で使えます。
